



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と  
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と  
ひ  
と  
学 生  
ツ ム ぐ

第37号

2017年8月9日

編集 竹内稔博

(東浦中学校主幹教諭)

## 夏休みわくわく算数・数学教室特集号 No.16

～そうだ、夏は、東浦へ行こう！ 東浦の子どもたちのために、  
そしてSPさん自身の教師力向上のために～

# SPさんの下校指導



↑ 手をつないで文化センターを出発



↑ 下校指導を終えて楽しく帰ってくるSPさん

5年間のわくわく算数教室。そのすべての回において「SPさんの引率による下校指導」が行われています。5年間すべてです。小学生ということと、昨今の社会の情勢も考え、安全面への配慮で、SPさんがそれぞれの方面に数名ずつに分かれて、引率して下校をします。保護者にも好評で「ついてきてくれて、安心する」という声をいただいています。

夏の一番暑い時間です。1時間半、全力で取り組んだので、SPさんも疲れがピークです。それでもいやな顔一つせず、引率してくれます。引率しながら子どもと会話をしてくれます。笑顔いっぱいです。

下の写真は文化センターから徒歩10分、片葩小まで下校指導をしている様子です。約30人の児童を9人のSPさんと学校教育課の城取さんと引率しました（このあとさらに、児童クラブへの引率もあります）。暑い中、とても上手に安全に引率してくれています。これも、「わくわく算数」のよいところ。これも現場感覚です。（現場に出れば、授業だけやっていたらよいということは絶対にありません。安全面への配慮は最重要事項となります。）



東浦中学校竹内稔博先生作成の「わくわく算数・数学教室通信第16号」を「ツムぐ学生」用に改編しました。